



# 個性豊かに、一人ひとりの想いを形に。

沖縄県では「世界から選ばれる持続可能な観光地づくり」を目指し、多彩かつ質の高い観光コンテンツの開発を推進しています。こうした中、「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」は、持続、発展、自走化に向けて沖縄独自の様々な資源やソフトパワーを活用した、コンテンツ開発の支援を行っています。

沖縄、この土地のたからものをどのように伝え、守っていくか――。

訪れるお客様とともに、多様な地域資源を有する沖縄のソフトパワーを丁寧に生かし合っていくことが持続可能な沖縄の発展につながっていきます。

## 「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」とは

本事業は、民間事業者等の実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化、芸能等）を活用した観光コンテンツ開発の支援を通じて、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図ることを目指しています。

### 補助対象事業者:

- (1) 観光関連事業やエンターテインメント事業等に取り組む民間事業者
- (2) 新たなユニークベニューやチームビルディング等のMICEメニュー開発に取り組む民間事業者
- (3) 地域観光協会、登録観光地域づくり法人(登録 DMO)、NPO 法人等

### 補助対象事業:

- (1) 沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化、芸能等の観光資源）を活用した多彩で付加価値の高い観光コンテンツ開発であること。
- (2) 観光消費額の向上や滞在日数の延伸等に繋がる取組であること。
- (3) 持続性及び発展性が見込まれ、自走化を前提とした取組であること。

(令和7年度)



上) FAMツアーの様子 下) ツーリズム EXPOジャパン2026 (愛知) 本事業ブース

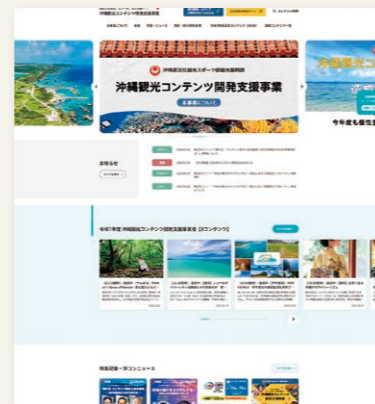
## 沖縄観光コンテンツ開発支援事業 ポータルサイトのご案内

支援内容の詳細や造成コンテンツ、最新情報をお届けしています！  
ぜひご覧ください。



<https://okicon.jp>

- ・造成コンテンツ詳細情報 (過年度～最新まで)
- ・テーマ・エリア別コンテンツ検索機能
- ・商談会・セミナー情報
- ・FAMツアー、モニターツアーのご案内 他メルマガ会員も募集中です！



発行 沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
電話:098-866-2764

編集人 奥野俊志(株式会社アール・ピー・アイ)  
編集協力 早坂妙子  
(株式会社ジャパン ライフ デザイン システムズ)  
永田さち子  
デザイン 須田 仁

2026年3月

本誌は沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」(令和7年度)の一環として制作しています。  
本誌掲載の記事・画像・イラストの無断転載、複写を禁じます。



# INDEX



## 本事業概要

- |      |  |                           |    |
|------|--|---------------------------|----|
|      |  |                           | 3  |
| ep01 | <b>Woman's Sense of Wonder</b><br>ー森と星とともに紡ぐ、“私”に還る物語ー <b>【首里周辺・やんばる】</b>                                  | 株式会社<br>ツアーデザイナーズ         | 4  |
| ep02 | <b>IHEYA SMILE</b><br><b>伊平屋島の離島生活を満喫プログラム</b> <b>【伊平屋島】</b>   | あいあいゆいまーる<br>株式会社         | 6  |
| ep03 | <b>沖縄郷時間</b><br>～人々の暮らしが織りなす本物の沖縄に出会う時～<br><b>【名護市(久志地域)】</b>  | 株式会社<br>ホット沖縄総合研究所        | 8  |
| ep04 | <b>琉球謎解紀行 in 沖縄市</b><br>～知恵とチームワークで謎を解け。多文化共存の街で学ぶ、リアルな探求プログラム～<br><b>【沖縄市(コザ地域)】</b>                      | 一般社団法人<br>沖縄市観光物産振興協会     | 10 |
| ep05 | <b>沖縄市コザ ノスタルジックツアー</b><br>～沖縄の最深部に飛び込む2時間のガイド付き街歩きツアー!～<br><b>【沖縄市(コザ地域)】</b>                             | 株式会社<br>ファンファーレ・ジャパン      | 11 |
| ep06 | <b>ビーチクリーンで想いをつなぐ沖縄の離島 全島チャレンジ</b><br><b>【県内離島】</b>  | 沖縄ツーリスト株式会社<br>一般社団法人しまぬわ | 12 |
| ep07 | <b>Re-Birthday チャレンジ誕生日! 久米島ソロバースデー旅</b><br>～眠っているあなたの夢の種、咲かせてみませんか?～ <b>【久米島】</b>                         | FM久米島株式会社                 | 13 |
| ep08 | <b>GOKAN_OKINAWA</b><br><b>五感で巡る 沖縄クラフトツーリズム</b><br>～染織と音色、彩の琉球時間 ー首里で出会う、纏う、聴く、つながる旅～<br><b>【那覇市(首里)】</b> | 株式会社よしもと<br>エンタテインメント沖縄   | 14 |
| ep09 | <b>ニューロダイバーシティ当事者とその家族向け<br/>癒しの観光コンテンツ開発事業</b><br>～ニューロダイバーシティ・ツーリズム～ <b>【本島全域】</b>                       | ティーアールピージャパン<br>株式会社      | 15 |

## 沖縄観光コンテンツ開発支援事業 造成コンテンツ事例MAP

## 観光コンテンツの「高付加価値化」に向けて ー実践セミナーよりー

※本誌掲載のツアー内容や料金は2026年3月現在のものです。変更となる場合がありますので、最新の情報は各事業者にお問い合わせください。  
※本誌は沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」(令和7年度)の一環として制作しています。  
本誌掲載の記事・画像・イラストの無断転載、複写を禁じます。

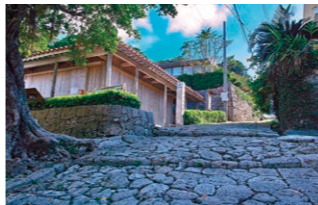
#トランス  
フォーマティブ  
・トラベル

#ウーマンオンリートラベル

#アドベンチャーリズム



ツアー初日に首里周辺を散策後、やんばるでは地元ガイドやユタなどの案内で、聖なる場所とされているエリアを巡る特別な体験を(写真上)。森のナイトツアー(写真下)や地域食材の食事楽しみ。



©株式会社ツアーデザイナーズ

## 首里の記憶、やんばるの息吹。

# 沖縄の文化と暮らしに触れ、本来の自分に還る旅

滞在型のプログラムを通じて、「感じる力」を呼び覚ます旅のコンテンツ。旅の舞台は琉球王朝の歴史と文化が息づく首里、そして世界5大ブルーゾーンのひとつとして注目される、本島北部やんばる。都市部から自然のなかへと向かう、全行程にはスルーガイドが寄り添う。自然や祈りの文化に触れ、地域の暮らしに触れる旅は、日常のなかで忘れがちな、自分自身と向き合う時間になる。



©株式会社ツアーデザイナーズ

地域が潤い、100年先までつなげる旅を目指して

**沖** 縄には豊かな自然とともに、琉球王国として約450年もの間、独立国家として栄えてきた歴史や文化、人々が大切にしてきた営みが今も残る。この魅力を伝え続けている地域の案内人と連携し、オーダーメイドの旅のコンテンツを造成したのが、株式会社ツアーデザイナーズの代表・宗像愛さんだ。東京出身の宗像さんは、カナダなど海外滞在を経て沖縄へ。英語力を生かして全国通訳案内士資格を取得し、インバウンドのツアーガイドとして活動した経験の持ち主だ。その過程で目にしたのは、一部の地域におけるオーバートーリズムの実態。そこで、「観光を通じて、地域とともに、未来を育てる」という理念のもと、旅行会社を設立した。

**女** 性をテーマとしたツアーを企画して3年目。本事業にエントリした今年は、過去2年間で培った知見や、時間をかけて築き上げてきた地域とのつながりを生かした、集大成のようなコンテンツに仕上がった。

3泊4日の行程の1日目は、那覇市内の首里エリアからスタート。首里城とその周辺を散策し、琉球王朝の歴史や独特の精神文化に触れてから、やんばるへ移動する。「はじめに首里の街を案内するのは、この後に続く旅への没入をスムーズにするため。石畳や路地を歩けば、観光地・沖縄から少しづつ人々の暮らしに視点が移っていくからなんです」。

同社が企画・運営する本ツアーは、おもに30代〜50代の女性をターゲットとした少人数の滞在型本島北部のやんばるエリアの暮らしにフォーカスし、沖縄の文化を深く掘り下げる内容になっている。「この地域には、自然とともに生きる知恵が今も息づいています。その暮らしや祈りの文化に触れることが、自分のありたい姿に一步

また全室1棟貸しの宿泊施設・南溟森室では、集落のなかで暮らすように過ごせるのが特徴だ。地域内での案内人は、宗像さんが「大きな刺激を受けた」という女性たちが中心。その一人で、喜如嘉翔学校を運営する山上晶子さんは、廃校が決まった小学校を再生し、地域の財産を未来に残すプロジェクトを立ち上げたその人だ。ナイトツアーを担当するのは、国頭村公認ネイチャーガイドの上開地広美さん。葉の裏や木の陰に隠れている昆虫たちを刺激しないよう細心の注意を払いながら、自然と人が共生するやんばるの森の豊かさについて教えてくれる。

2日目には、琉球発祥の地であり、沖縄の歴史と精神文化を知るうえで重要な役割を果たす本島北部の集落を訪ねる。ここでの案内役は、南溟森室を運営し、地域のコーディネートターとしても活動する仲本いつ美さん。曾祖母が神人だった仲本さんからは、自身の家族のエピソードを交え、集落の成り立ちや歴史を聞くことができる。特別なプログラムのひとつが、古くから伝わる民間信仰の対象でもあるユタ文化体験。沖縄でユタは、「医者半分、ユタ半分」と言われるほど日常生活に根付いた存在で、代々家系によって受け継がれているという。ユタ文化体験は

**地域とつなぎ全行程に寄り添うスルーガイド**

一般的ツアーでは体験できない、高付加価値のコンテンツにより参加者の満足度を高めるとともに、地域に負荷をかけず持続可能な利益をもたらすことも、本コンテンツのミッションのひとつ。そこで重要な役割を果たすのが、旅をコーディネートし全行程に同行する、宗像さんのようなスルーガイドの存在だ。地域の魅力を引き出し、受け入れ側と密に連携することで、スムーズな進行を可能にしている。参加者の希望に臨機応変な対応ができるのも、ガイドと地域との信頼関係が確立されているからに違いない。

オーダーメイドによる滞在型プログラムは、参加者の志向を把握できているため、高い満足度を得られやすい。一方で、スルーガイドの力量次第であることも否めない。今後はインバウンドへの対応も視野に、人材の育成に力を注ぐ。



# Woman's Sense of Wonder

## —森と星とともに紡ぐ、“私”に還る物語—



©株式会社ツアーデザイナーズ

自然・文化・祈りの背景にある物語を手がかりに、自分自身と向き合う時間を見つめる女性に向けた少人数ツアー。やんばるの森や集落、祈りの場を訪ねながら、地域に受け継がれてきた自然観や信仰、暮らしの文化を体感する。地域の女性たちとの交流や文化体験を通じ、人と自然、人と人、そして神様やご先祖様など目には見えない存在とのつながりを感じる時間となる。

沖縄では古くから女性が信仰や暮らしを支え、人々の精神文化を担ってきた。特にやんばるには自然や伝統とともに生きる女性たちが地域に多く、その暮らしや価値観に触れられることが、このツアーの魅力となっている。

### 基本情報

主催者：株式会社ツアーデザイナーズ  
(沖縄県浦添市当山2-6-6) 080-1089-1552  
エリア：首里周辺、やんばる  
タイプ：オーダーメイド  
所要時間：ご希望に合わせて  
催行人数：最少1名〜  
想定対象：ウェルネスや環境・社会への関心が高く、心身の充実や学びを求める30〜50代女性層。インバウンドにも対応可能。  
URL: <https://tourdesigners.co.jp/>

詳細はWEBサイトへ



### Sense of Wonder とは…

「自然の神秘や美しさに心を動かされる感性」を意味する言葉で、海洋生物学者のレイチェル・カーソンが語った概念。子どもの頃には誰もが持ちながら、大人になるにつれて忘れがちな感覚でもある。

やんばるの森や星空、人々の暮らしに触れる体験を通して、その感性をあらためて呼び覚まし、自分自身の内側にある感性や物語と出会う。豊かな自然と受け継がれてきた暮らしや精神文化が、“Sense of Wonder”を思い出させてくれる。

この旅は、やんばるの自然と人との関係性の中で、“Sense of Wonder”を感じ直し、自分自身の「ありたい姿」と向き合う時間となる。

### 3泊4日モデル行程

#### DAY1

##### ◎琉球王国と信仰

歴史と文化に触れる王都首里まち歩き

##### ◎やんばるの集落を歩く、ひととき

風と暮らしにふれる時間

##### ◎やんばるの台所に迎えられて

食からひらく、暮らしの記憶

#### DAY2

##### ◎神話が息づく古集落

琉球創世の神話と祈りの記憶を辿る

##### ◎やんばるの恵みをいただく、

昼のひととき

### ◎やんばるの森

ナイトネイチャーウォーク&星空浴

#### DAY3

##### ◎火とともに迎える、やんばるの朝

カマドの火で炊くごはん

##### ◎民具づくり体験

自然と暮らしが寄り添う“島の手仕事”を受け継ぐ時間

##### ◎やんばる酒造見学

人と人をつなぐ泡盛に出会う、地域の物語ツアー

##### ◎火を囲み、島の恵みを分かち合うBBQ

#### DAY4

##### ◎那覇空港へ移動

#SDGs  
#文化体験  
#離島

島にある資源を掘り起こし、もっと輝く宝に！

訪れる人には特別な体験とリフレッシュを、島には豊かさを提供するSDGsなプログラム

琉球の島々をつなぐ中継地として、古くから多くの人が行き交った伊平屋島。天岩戸伝説が残る日本最南端の地とされる島には美しいビーチとともに、ほかの離島とは異なる自然景観や、どこか懐かしさを感じさせる田園風景と家並みが残る。埋もれかけた島の宝を磨き直し、観光コンテンツとして再生することで島の未来を豊かにする可能性を秘めたプログラムが誕生した。インバウンドも視野に、訪れる人と受け入れる人の幸せを両立する、持続可能な仕組みの完成を目指す。



1泊2日のツアーのメインは、サバニクルーズ。島唯一の泡盛酒造所「伊平屋酒造所」(右上)での試飲や、民泊先の上原英行さん・恵子さん夫妻(下中央、右端はガイドの太友洋一さん)との触れ合い、食事(下左)も楽しみ。



IHEYA SMILE 伊平屋島の離島生活を満喫プログラム

～心地よい風に吹かれ、ゆったりとした時の流れに浸り、豊かな自然と温かな人々に包まれるひととき～

「伊平屋ブルー」と呼ばれる鮮やかな青い海と、まっ白な砂浜、豊かな山並みのふもとに広がり、日本の原風景が残る伊平屋島で、自然と伝統文化を温かなホスピタリティとともに体験。アクティブなもから伝統文化体験までバラエティに富んだ内容になっている。なかでもサバニでの追い込み漁体験、稲作体験と泡盛酒造所見学を組み合わせたプログラムは、この島ならではの内容。島の文化や歴史、人々との触れ合いもあり、離島ならではの心の安らぎと豊かさを体験できる。



「アットホームな離島生活体験」1泊2日のツアー例

1日目	
◎本島・運天港からフェリーで前泊港に到着	◎夕食 マグロ漁師の宿「まんくやー」に民泊。ご主人が獲った魚と、島野菜を使った料理の夕食。
◎島内観光 トゥクトゥクまたは電動アシスト付き自転車での島の東海岸を巡り、史跡を訪ねる。	◎星空観測 天気の良い日は天の川がくっきり！流れ星が見えることも。
◎稲作体験 田名の神様が見守る田んぼで、稲刈りと稲架(はざが)けを体験。	◎朝食
◎酒造所見学 島唯一の泡盛酒造所「伊平屋酒造所」を見学し、古酒を含む泡盛の試飲。	◎サバニクルーズ エーク(稲)を操って漕ぎ出し、野甫大橋をくぐる。ウミガメに出会える可能性もある。
2日目	

そのほかのツアー例

- ・海人の指導で伝統漁を体験 ～サバニで漕ぎだす追い込み漁ツアー～
- ・風と海と舟の調和を体験 ～サバニスノーケリングツアー～
- ・豊かなサンゴ礁を巡り生き物観察 ～龍宮の散歩道スノーケリングツアー～
- ・電動トゥクトゥクで巡る ～島内北部の絶景・パワースポット探訪ツアー～
- ・電動アシスト付き自転車で巡る ～島内南部の絶景ポイント・史跡探訪ツアー～
- ・原風景が残る田名の神様の田園で稲作体験と泡盛酒造所見学
- ・後世に残したい民具工芸体験 ～ハルサー・海人の必需品 クバ笠作り体験～
- ・伊平屋の海を身近に感じる！～貝殻・サンゴくずアクセサリー作り体験～

基本情報

主催者：あいあいゆいまーる株式会社  
(沖縄県島尻郡伊平屋村字前泊270-1) 090-3817-2327  
エリア：伊平屋島  
タイプ：現地発着募集型ツアー  
所要時間：①単独のプログラム2時間30分～4時間、②離島生活体験は1泊2日  
料金：①5,000円～、②10,000円～(宿泊、朝夕食のみ)  
催行人数：最少1名～最大4名  
想定対象：ウェルネス、SDGsに興味がある個人旅行者、欧米圏からのインバウンド旅行者  
URL: <https://iheyasmile.okinawa/>

太古の自然と神話に彩られた  
唯一無二の島の魅力

**伊** 平屋島は、沖縄県最北端の有人離島。南北に細長い周囲約35キロメートルを、伊平屋ブルーと賞される海が囲む。また「てるしの」の島の別名がある天岩戸伝説の島であり、琉球王朝を統一した尚巴志(しやうはし)の祖先の墓が残るなど、神話や歴史にまつわる史跡にも事欠かない。

「伊平屋島の海の色は、沖縄のどの島の海とも違うブルー。細長い地形なので、北と南で海の色が異なり、一つの島でさまざまな表情を見ることが出来ます。趣味のダイビングで国内の離島のほか、オーストラリアやハワイにも行きましたが、ここ以上に感動を得られた場所はありませんでした」と話すのは、あいあいゆいまーる株式会社代表・太友洋一さんだ。

本コンテンツの企画運営とともに、自らスルーガイド(旅程全体を案内する専属ガイド)も務める太友さんと伊平屋島との出会いは、大学卒業後間もない一人旅。その後、IT企業や旅行会社に勤務するが、何度も島に足を運んだ。2023年には、念願がかない地域おこし協力隊として島に移住し、2年目に地域限定の旅行会社を設立。昨年度、初めて本事業

にエントリーし、観光コンテンツの開発に乗り出した経緯を聞いた。「島内をつぶさに見て回り、地域の人たちとの対話を重ねていくなかで、伊平屋島の魅力は海の美しさだけではないことがわかりました。ほかの島では見かけることが少なくなった水田風景や、伝統的な民具作りに使われるクバが自生し、島外から訪れた人を温かくもてなす気質もあります。自然とともに島の人と触れ合う離島生活の体験が、島の資源を活用した持続可能な観光コンテンツになると思いました」。

今ある資源を磨き直した特別なコンテンツ

**事** 業エントリー年目は、島の漁師や民具作りの職人と連携した体験プログラムを実施。予約用オンラインシステムの整備や、使われなくなっていた沖繩の伝統木造船「サバニ」の修復に着手するなど、コンテンツ充実の下地を整えた。2年目となる今年度、完成したプログラムのなかで人気が高いのが、修復が完了したサバニで海に漕ぎ出し体験する、伝統的な追い込み漁やスノーケリングツアー。ほかにも、トゥクトゥク、電動アシスト付き自転車による史跡と絶景巡り、民具作りの体験な

どを企画した。

また、伊平屋島ならではのプログラムが、稲作体験と泡盛酒造所見学を組み合わせたもの。島には離島では珍しく豊かな水源があり、稲作が盛んに行われてきた歴史がある。島の守り神である田名神社の水田を借りて行う田植えや、稲刈り体験で収穫した米の一部は、島内唯一の泡盛酒造所で仕込み用に使われる。酒造所見学と泡盛の試飲ができるだけでなく、収穫した米と泡盛が自宅に届くという、お楽しみ付きだ。原料の米作りから手がける酒造所は沖縄県内でもほとんどなく、自宅に送られてきた米や泡盛を味わうたびに、島で過ごした時間が蘇るに違いない。

1泊2日の離島生活体験に  
コンテンツの魅力を凝縮

**体** 験プログラムはそれぞれ単独で申し込み可能だが、コンテンツの魅力が余すところなく体験できるのが、複数のプログラムと民泊を組み合わせ、太友さん自身が案内する1泊2日の「アットホームな離島生活体験」だ。島の史跡やパワースポット探訪は、トゥクトゥクか自転車を選ぶ。稲作体験と泡盛酒造所見学後は、民泊先となるマグロ漁師が営む宿へ。夕食には地魚と島野菜の料理が並

び、オーナー夫妻と会話を楽しむ時間も設けられている。2日目のハイライトが、サバニクルーズ。約2時間のクルーズでは、伊平屋島と野甫島を結ぶ野甫大橋をくぐり、太友さんに「これ以上、感動した場所はない」と言わしめた海を満喫できる。

体験プログラムは、9種類。季節限定と通年実施のもの、屋内で体験できる民具作りなど、バラエティに富んだラインアップ。天候に左右されることもある離島で、選択肢が多いことは利用者にとって大きな安心材料になる。参加者の好みや体力、天候などに応じてコーディネートしてくれる、スルーガイドの存在も心強い。

現在、伊平屋島でスルーガイドとして活動しているのは、太友さんのみ。同様のスキルをもつガイドの育成は急務だ。また、島の中心に魅力ある仕事を提供することも、課題のひとつ。「進学のため、島を離れた人たちが帰ってきて活躍できる職場があれば、島の文化や暮らしを持続し豊かにしていくことができるはず」と太友さん。今後は島内の観光事業者をはじめ行政や、この取り組みに共感してくれる旅行会社とも連携を強めていく。受け入れ人数の増加とともに、雇用創出も目標だ。



## と 沖縄郷時間

～人々の暮らしが織りなす本物の沖縄に出会う時～

名護市東海岸沿いに広がり海と山に囲まれた久志地域で、13の集落に息づく暮らしの魅力を体験。この地域は沖縄の原風景と奥深い自然、旧暦とともにある伝統文化と暮らしが残るエリア。それらをローカルパートナーと名付けた13人の地域住民が案内役となり、彼らの過ごす暮らしぶりや、自慢の地域文化をありのままに体験できる。それぞれのパートナーの人柄に触れられることも大きな魅力。故郷に帰省するような感覚で、再びパートナーに会いに訪れたい内容になっている。

### NEW 琉装で集落散歩とゆんたくタイム

稲嶺のり子さん  
趣味で収集した20着以上の琉装から好みの1着を選び、稲嶺さんが着付けてくれる。その姿で集落内を散策し写真撮影後は、おしゃべりタイム。子ども用、男性用の用意もあり、親子三代、家族連れ、カップルや友達同士でも参加できる。



### NEW 採れたて野菜のピザ作り

野原シマ子さん  
ゴーヤ、ナス、ピーマンなど季節の野菜やハーブを栽培する専業農家の野原さんの畑で収穫を体験。採れたてを持ち帰り、生地からピザを作って味わう。調理師免許をもつ野原さんから、野菜をおいしく食べる秘訣なども紹介。1家族、または1グループ限定で実施するため、Farm to Tableのプライベートな料理教室のような内容。



### 基本情報

主催者：株式会社ホット沖縄総合研究所 098-860-6100  
那覇拠点 沖縄県那覇市西1-19-1-2F  
名護拠点 沖縄県名護市安部156-2  
エリア：名護市(久志地域)  
タイプ：現地発着募集型企画ツアー(事前申し込み制)  
所要時間：1時間・1.5時間・2時間  
料金：3,000円・4,000円・5,000円  
催行人数：2名～10名(複数プランを同日体験の場合は合計50名まで可能)  
想定対象：カヌチャリゾートの宿泊客中心。沖縄のローカルな暮らし体験に興味がある県外在住ファミリー、修学旅行  
URL: <https://okisatojikan.com>



## ローカルパートナーとツアー例

**おしゃべりオージーと集落散歩**  
(安部区・宮城さん)  
名物オージーが伝えたい、集落の秘話を披露。

**ヤギマスターと朝散歩**  
(二見区・喜屋武さん)  
ヤギマスターの朝散歩に同行。

**暮らしの達人とゲートボール**  
(大浦区・喜手刈さん)  
大浦区の皆さんとゲートボール対決。

**ゆんたくはんたく♪ものづくり女子会**  
(三原区・ていぐま会)  
おしゃべりお茶会で民具作り。

**在来種守る唯一の担い手と畑作業**  
(嘉陽区・翁長さん)  
一緒に稲作やマコモの畑仕事体験。

**小学生の夏休みに戻れる朝7時**  
(天仁屋区・ラジオ体操同好会)  
地域のラジオ体操に参加。

**元寿司職人の引退ライフ**  
(大川区・澤岬さん)  
季節野菜の栽培からニワトリ、ヤギの飼育まで。

**琉球藍が彩る自然の中で子育て**  
(三原区・照屋さん)  
琉球藍の染物屋の日常生活を体験。

**仲よし夫婦とゆったり朝時間**  
(嘉陽区・比嘉さん)  
昔ながらの四季折々の暮らし体験。

**集落散歩とアートワーク**  
(嘉陽区・山本さん) NEW  
集落散歩で集めた素材でアートクラフト。

**琉球ガラス体験**  
(底仁屋区・波名城さん) NEW  
工房でガラス作りの一部を体験。



嘉陽集落の風景(左)。集落散歩で集めた素材を使ったアートクラフトづくり(右上)。琉球ガラス工房でのガラスづくり体験(右下)。



## 沖縄の原風景と暮らしに触れるひととき 季節の移ろいとともにある集落文化を ありのままに体験する癒しの旅

失われつつある沖縄の原風景と、地域ならではの暮らしが残る久志地域。そこで営まれる人々の日常が、とても輝いている。住まう人と交流し、暮らしの一部を体験する時間が、訪れる人に新鮮な感動と故郷で過ごすような癒しを提供し、受け入れる側には、自身が暮らす地域への誇りと生きがいをもたらした。双方に価値を生み出し、地域とともに創る旅のかたちは持続可能な観光コンテンツとして今後の展開に期待が高まっている。



地域の暮らしを守り伝えたい  
その想いを体験プランに

**名** 護市の東海岸に位置する久志地域には、自然と共存する生活や文化が今も残る。その魅力を体験プランとしてコンテンツ化したのが、ホット沖縄総合研究所だ。同社は、グループ会社であるカヌチャリゾートの宿泊客の滞在価値向上のため、地域内で体験できるアクティビティを模索していた。一方の久志地域は、高齢化により地域の文化を継承していくことが難しくなっている状況がある。双方の課題を解決する取り組みとして、本コンテンツの造成が始まった。

企画運営を担当する翁長愛音さんと上原由姫子さんは那覇から幾度も足を運び、各地区の区長や住民に事業の背景と目的、内容や運営方法を丁寧に説明するところから始めた。そこで大きな推進力となったのが、地域のコミュニティスペースを運営する株式会社わんさかと、地域活性化に取り組むNPO法人久志地域観光交流協会との連携だ。時間をかけて信頼関係を築き、1年目に完成したのがローカルパートナーと名づけた9人の暮らしを体験する9つのアクティビティ。

**本** 事業で昨年度実施したモニターツアーは、将来はこの地域に移住を考えたいという参加者もいたほど好評だった。2年目の今年度は新たに4名のパートナーが加わり、体験内容がさらに充実した。その一人、稲嶺のり子さんの「琉装体験とゆんたくタイム」では、稲嶺さんが所有する琉球舞踊の衣装を着付けてもらい、昔ながらの家並みや史跡が残る集落を散歩するというもの。

「民泊の高校生に着付けてあげて集落散歩に出かけたら、近所の皆さんが声をかけてくれたのです。それが、とてもうれしかったです。モニターツアーでは、ゆんたくが長くなって、予定時間をかなりオーバーしてしまいました」と楽しそうに話す。

「採れたて野菜のピザ作り」のパートナーである野原シマ子さんのツアーでは、畑で季節の野菜を収穫し、ピザを作って食べる。「沖縄の野菜がどんな畑で栽培されているのか、作り手の想いも知ってもらいたい」と野原さん。本コンテンツの実施により、受け入れる地域側に変化が出てきたと感じているのは、(株)わんさかの大城光長さんだ。

「パートナーさんの学習意欲が高まり、地域文化を研究する動きも広がっています。自分たちの日常の価値に改めて気づき、誇りや生きがいといったものにつながっているのではないのでしょうか。私自身も、暮らしそのものの面白さを再認識しました。」

2年目の活動に当たり、運営側パートナー側、共通の目標は、販売数を増やすこと。地域行事に合わせた受け入れや、食事付きプランなどを提案する声もあるという。また、体験は事前申し込み制のため、来訪前に確実に情報が届くプロモーション強化も必須と感じている。地域のありのままの暮らしという価値への認知度を高め、観光の市場に無理なくつなげていくためにも、情報発信の手法にも工夫が求められている。



冊子(右)とマップ・ヒントブックを手に、いよいよゲームスタート! 紹介チラシも謎解きになって楽しめます(上)。担当の沖縄市観光物産振興協会・渡久山環さん(左)。



## チームで巡れば楽しさが倍増! ディープな街の魅力を謎解きで 巡りながら発掘する リアル体験型街歩きゲーム

キットを手に繰り出し、街の中に仕掛けられた謎を解きながら歩く。すると好奇心が刺激され、歴史に興味湧いてディープな街の魅力も見えてくる。修学旅行などチームで知恵を出し合うことで、結束力の高まりにも期待大!

アメリカ文化が香る街を知恵と足を駆使した謎解きで楽しむ

**街** 歩き型謎解きの楽しさは、観光名所や歴史スポット、路地に散りばめられたヒントを追いかけながら、自分のペースで歩き回れること。ガイドブックだけでは記憶に残らないその土地の魅力に触れられるうえ、自然と歩行距離が延びることもあり、「楽しみながら脳トレできる健康的なレジャー」として年々人気が高まっている。街歩きの途中で見つけたショップやカフェへの誘客を期待できるだけでなく、修学旅行などのグループ活動に取り入れることができる。

この謎解きゲームを活用した観光コンテンツを開発したが、一般社団法人沖縄市観光物産振興協会だ。事業参加2年目となった今年度は、テーマを絞り込んで問題を一新、街歩きのエリアも限定した。コンテンツ開発を担当する渡久山環さんに経緯を聞いた。  
「初年度は琉球王朝の歴史や文化まで網羅した内容でしたが、体験した方たちからは、『もう少しショートバージョンが欲しい』との意見がありました。そこで今年度はエリアをコザに絞り込み、テーマも戦後の沖縄文化にフォー

カスしています。コンテンツの密度を高め所要時間を短くし、問題を一つ解くだけでも楽しめる内容になりました」。

沖縄市中心部の市街地コザには戦後、独特のアメリカンカルチャーが根付き、これを目当てに訪れるリピーターは多い。2025年に公開された映画『宝島の舞台となったことで、「新たなファン層が確実に広がっていることを実感しています」と渡久山さんは言う。エンタメ性に学びの要素を加え、動線も見直して坂道が少ないルートに改めたことから、暑さが心配される夏場や、シニア層のチャレンジもしやすくなった。「地元商店街や飲食店とも連携し、地域内での滞在時間を延ばすこと

が今後の課題です。現在は専門家に依頼している問題作成を、地域のことを一番わかっている自分たちで手がけたい思いもあります」と渡久山さん。

修学旅行など教育旅行では、旅程の一部に学びの要素として取り入れることができるため、ニーズは高い。今後はオンラインゲームとの連携や、エイサー、音楽イベントなどで訪れる個人旅行者の間で、認知度を高めていく。合格認定証やノベルティを作り、収益につなげることも検討中だ。全国には500万人以上の謎解きファンがいるといわれている。そのターゲットに向けて、さらなるコンテンツの充実を図っていく。

### 琉球謎解紀行 in 沖縄市

～知恵とチームワークで謎を解け。多文化共存の街で学ぶ、リアルな探求プログラム～

琉球文化と戦後のアメリカンカルチャーが融合する沖縄市コザを、ゲーム感覚で巡りながら街歩きを楽しむ。参加者はキットを手に、各スポットに仕掛けられた謎に挑戦。達成感とともにガイドブックには紹介されていない路地裏や、この街ならではの歴史的背景に触れられるのが魅力。

#### 基本情報

主催者：一般社団法人沖縄市観光物産振興協会  
(沖縄県沖縄市上地1-1-1 コザミュージックタウン106)  
098-989-5566  
エリア：沖縄市(コザ地域)  
タイプ：自由参加型(キット購入)  
所要時間：120分～180分  
料金：1冊1,364円(税抜) ※沖縄市観光物産振興協会にて販売  
催行人数：1名～  
想定対象：修学旅行、一人旅、親子連れ、グループ、謎解きファン、街歩きが好きなリピーターなど  
URL：https://www.koza.ne.jp/column/n2803312.html



かつて「B.C.ストリート」と呼ばれ、米兵向けの歓楽街として栄えたパークアベニューを中心とした街歩きでは、現在と過去を行き来するような体験ができる。ガイド役は、地元で人気の芸人コンビ「わさび」(下)。



本ツアーの企画を担当する、プロデューサーの神山繁さん。



## 街全体が劇場になる! 没入型リアル体験 ディープなローカルエンタメを満喫 ノスタルジック・コザの街歩きツアー

戦後の沖縄で、アメリカンカルチャーの影響を受け、個性豊かな商店街が生まれたコザ。人気芸人の案内でその深層部に飛び込む街歩きツアーでは1950～60年代の“昭和レトロなコザ”へタイムスリップする臨場感を体感できる。

コザの深層部へタイムスリップするエンタメ体験型ツアー

#### 戦

後、アメリカ軍の門前町として賑わいを見せたコザ。アメリカンカルチャー、ローカル食堂や夜の飲食街、コザロックなど、独自の文化が発展してきた街をディープに体験できるのが、このツアーだ。

コンテンツを立ち上げたファンファレ・ジャパンは、アーケード街のデザイン装飾や古い建物を利用したホテル事業など、ユニークな取り組みで街に賑わいを取り戻すための活動を行ってきた。本事業を初めて活用した令和6年度には、地元で人気の芸人をガイド役に、個性的な通りを巡るツアー商品を企画し話題となった。2年目はターゲット別に3つの新コースを開発。取締役でプロデューサーを務める神山繁さんに、ツアーの魅力とポイント聞いた。  
「昨年度は街の視察的な内容が中心で、私たちが最も得意とするエンターテインメントとしての楽しさを十分に発揮しきれていないと感じました。戦後のコザの歴史を丁寧に伝えながらも、この街にしかない魅力を体験し、お客様にもっと楽しんでいただける内容に刷新しました」。

### 沖縄市コザ ノスタルジックツアー

～沖縄の最深部に飛び込む2時間のガイド付き街歩きツアー!～

コザの歴史的エリアを巡る街歩きツアー。人気の芸人がガイドする夜のロングツアーがメイン。米兵たちが集った元キャバレーのスペース、居酒屋のはしご酒のほか、ライブハウスでは本場のコザロックを楽しむ。夜のショートツアー、修学旅行向けに昼間のツアーも。

#### 基本情報

主催者：株式会社ファンファレ・ジャパン  
(沖縄県沖縄市中央2-6-47) 098-989-3969  
エリア：沖縄市(コザ地域)  
タイプ：現地発着募集型企画ツアー  
所要時間：19:00～21:00(約2時間) ※夜のロングツアー  
料金：1人8,000円  
催行人数：最少5名～最大10名  
想定対象：沖縄訪問が2回目以上のリピーター、通な沖縄ファン  
URL：https://kozanosu.com/

構成も新たに完成したのは、夜のロングツアー(週末限定)とショートツアー、昼間のツアーの3コース。最もエンタメ性が高いのが、昨年度のツアーをさらにブラッシュアップした夜のロングツアー。人気芸人のナビゲートにより、米軍相手のキャバレーだったスポットをはじめ、アメリカと地元の居酒屋文化、音楽が融合した、独特の雰囲気を持つ街を歩く。ガイドの巧みな話術と演出もあり、昭和のコザにタイムスリップした没入感を体験できる。途中で居酒屋のはしご酒や、ライブハウスのコザロックに浸る、大人向けの内容だ。

一方、ショートツアーは、コザの歴史を紹介するパネルが設置された全長450メートルのパークアベニューを往復する、コンパクトな街歩き。また昼間のツアーは、個人旅行のほか修学旅行、企業研修の一部にも取り入れられる平和学習的な内容になっている。しかし堅苦しいものではなく、名物食堂、米兵たちが好んで通う刺繍店など、ユニークなスポットを盛り込んだ。  
「ノスタルジーや、いわゆる『エモい』という感覚に共鳴する人たちには、きつと興味を持ってもらえるはず。今後は沖縄市観光物産振興協会(10ページ)との連携も図っていきたくと思っています」。



1泊2日の伊平屋島ツアーでは、県内外からの参加者に地元の中生も合流し、島内の2カ所にてビーチクリーンを実施。人気ユーチューバーによる解説や、即席幼児水族館づくりも好評だった。



離島で体験するSDGsなアクティビティ

海に優しく、世界から選ばれる  
沖縄を目指すビーチクリーン

美しいビーチの景観を損なう海ごみが、視点を変えれば観光資源になる。旅行会社のノウハウと環境活動のネットワークを生かしたビーチクリーンは世界から選ばれる持続可能な観光地を目指す、再生型観光のモデルケースだ。

海ごみを資源に  
ビーチクリーンで  
離島の観光消費を創出

先で地域社会に貢献する活動を行うボランティアツアー（海ごみの清掃）があり、愛好家も存在する。そこに着目し観光コンテンツ化したのが、沖縄ツーリスト株式会社（OTS）と、沖縄の海洋保全に取り組む一般社団法人しまぬわだ。

1泊2日の伊平屋島ツアーには、家族連れ、カップル、グループ、一人旅など25名が参加し、10名が県外からの旅行者だという。1日目は到着後、島の神事が行われる神社に参拝し、神話にふれる。島の北側の潮下浜で地元中学生と合流してビーチクリーンを実施。プラスチックボトルや魚網など、約1時間でブルーシートいっぱいのごみを集められた。収集後は分別まで行うのがツアーのルール。海ゴミ集積所までは伊平屋村役場が運搬した。夜は島内の民泊施設に宿泊し、離島の星空も楽しんだ。

んによる即席幼児水族館づくり。護岸から採取した幼魚を水槽に集め、鈴木さんが解説してくれる内容で、子どもも大人も夢中になって魚採りを楽しむ姿が見られた。神奈川県から一人で参加した女性には、「砂浜が目に見えてきれいになっていくのがおもしろくて、時間を忘れてしまった。帰りに那覇で泊し、観光をしてから帰ります」と、ビーチクリーン体験の感想を話す。SDGsをテーマとした講演活動も行っているOTSの榎野浩さんは、本コンテンツ造成の経緯と意義について以下のように話す。「沖縄を、世界から選ばれる持続可能な観光地にしたいという想いから、ビーチクリーンと観光を組

ビーチクリーンで想いをつなぐ  
沖縄の離島 全島チャレンジ

全国のビーチクリーン愛好家を、一人では実現が難しい離島に沖縄本島から案内するツアー。訪問離島では地域の人々や子どもたちと交流し、それぞれの島が抱える海ごみ問題にも触れる。イベント参加などアクティビティも組み合わせ、5年～6年で38の全島制覇を目指している。



基本情報

主催者：沖縄ツーリスト株式会社  
(沖縄県那覇市松尾1-2-3) 098-917-2546  
エリア：県内の有人離島38島  
タイプ：沖縄本島発着募集型ツアー  
所要時間：訪問する離島により、日帰りまたは1泊2日  
料金：日帰り離島5,000円～10,000円、  
1泊離島20,000円～30,000円  
催行人数：最少15名～最大30名  
想定対象：家族連れ、個人、団体、ビーチクリーン愛好家、ボランティアツアーリズムに興味がある層  
URL：https://zenzo-challenge-okinawa.studio.site/

み合わせのことを考えました。本事業にエントリーしたことで離島の下見や自治体との関係作りがスムーズになり、コンテンツ造成がスピードアップしました。海ごみを集めるだけでなく、離島のごみ問題と向き合うことにも意義があり、地域の方たちとの交流は欠かせません。ツアーの評判は上々で、毎回募集締め切り前に定員に達する盛況ぶり。今後は県外からの集客の仕組みづくりや、法人の継続的な活動に必要な資金造成などの課題がある。

現在の達成島は伊平屋島はじめ久米島、伊是名島など11島。全島制覇への旅は始まったばかりだ。



ブクブク茶体験の様子(左)。地元の奏者と一緒、参加者はお母さんの思い出の曲を奏でます(右上)。パースデー当日には、メッセージを添えたお花の贈呈も(右下)。



その夢、久米島がかなえます！  
Re-Birthday 一人旅のチャレンジを応援し、  
島じゅうがお祝いするソロパースデー旅

沖縄観光の課題のひとつでもある、冬の集客。一年中、集客が望めるコンテンツがほしい。そこから生まれたのが、季節を選ばず365日チャンスがある「誕生日旅」だ。久米島で体験できる、世界でたったひとつの「ソロパースデー旅」とは。

島で誕生日を迎える一人旅限定。  
2泊3日で夢をかなえる  
オーダーメイドの誕生日祝い

FM久米島が企画した観光コンテンツは、島で誕生日を迎える一人旅のゲストの夢やチャレンジを徹底的にサポートし、実現するというもの。誕生日という特別な日を島全体で祝い、感動体験を創出する。企画管理を担当するのは、ラジオパーソナリティの小田部早苗さんだ。

「FMラジオ局には、ガイドブックにはない情報や、島の人たちのさまざまな活動内容が集まっています。これらをつなげれば、ユニークな旅のコンテンツができると思いました」と小田部さん。

初年度は、旅行中に誕生日を迎える主役を含むファミリーを対象としたが、2年目は一人旅にターゲットを絞り込んだ。

「昨年、ご自身の誕生日にご家族で参加された女性の言葉が印象的だったのです。普段は家族優先で自分のことが後回しになってしまいうけれど、これからは自分のことをもっと大切にしたい」と、おっしゃったのがヒントになりました。一人旅の方は購買力が高いといわれていますし、国内旅行を趣味としているおひとり女性が多いことにも注目しました。

Re-Birthday  
チャレンジ誕生日！  
久米島ソロパースデー旅

～眠っているあなたの夢の種、咲かせてみませんか？～  
島で誕生日を迎えるゲストの旅を2泊3日でフルコーディネート。長年の夢の実現、やりたかったことへのチャレンジをサポートし、滞在中はラジオにも出演。誕生日当日は、プラン実現にかかわった人すべてが参加するパースデーパーティーで盛大に祝う。

基本情報

主催者：FM久米島株式会社(沖縄県島尻郡久米島町字仲泊730 久米島町具志川農村改善センター2階) 098-985-2770  
エリア：久米島  
タイプ：現地発着型ツアー  
所要時間：2泊3日  
料金：20万円  
催行人数：1名限定  
想定対象：一人旅、ソロ活を楽しむ20代～50代の女性  
URL：https://birthday-tabi.com/solo

2泊3日のプランを支えるのが3人のキーパーソン。旅行開始前のやり取りをもとに、オリジナルの行程を作成するのが「パースデーコンシェルジュ」。次に、一人旅の淋しさを解消し、家族のように温かく迎えるのが宿泊先の「しま家族」。そして、多彩な得意分野でチャレンジをサポートするのが「叶え人」。パースデーパーティーでは、プラン実現にかかわった人すべてが参加して祝う。本事業を活用したモニター旅行には30名の応募があり、3名が実際に体験した。50代女性のリクエストは、「30年間遠ざかっていたバイクにもう一度乗りたい」というもの。主催者側が用意したバイクを起こすところから再スタートし、ショートツーリングを実現した。

60代の女性は、介護をしていた母親を亡くしたばかり。三線を習って母親が好きだった曲を弾けるまでになり、「喪失感から何も手につかない状態でしたが、これやと前に進めます」と晴れやかな表情で島を後にしたという。

30代の女性は久しぶりに子育てから解放され、月桃やハーブを使ったクラフト、無人島の史跡巡りなど自分だけの時間を楽しんだ。価格は、コーディネート費や体験プログラム費に加え、貸し切りライブ、パーティー、飲食・宿泊費までを含んだインクルーシブ型だ。今後は、訴求効果が高いターゲットにコンテンツの魅力が確実に届く広報活動とともに、連携する島の事業者まで潤うような仕組みづくりも模索していく。

#クラフト  
#高付加価値  
#文化体験

プロによる着付け、メイク、写真撮影に加え、紅型工房の見学や工房の当主とのお話しなど、一般のツアーでは体験できない内容。琉球古典音楽鑑賞とフレンチディナーも盛り込み、すべてが厳選された贅沢な2日間のツアー。



沖縄の美を五感で巡り、伝統工芸の世界をたどる旅

手仕事に触れ、作家と語らい、養生料理に舌鼓。琉球王朝が育んだ美の世界に浸る2日間

紅型、琉球古典音楽、琉球料理…。琉球王朝によって育まれた沖縄の美を五感で体験する2日間のツアー。エンタメのプロが作り上げた沖縄の伝統工芸を巡る旅が、和装好きの女性の心をとらえた。

歴史と技が息づく  
沖縄の美意識を2日間に凝縮

テレビ番組の制作や、芸能プロダクションとして知られる「よしもと」の事業のひとつに、地方創生事業がある。本事業にエントリーしたきっかけは、同社が8年間にわたって手がけた「やんばるアートフェスティバル」だ。「アート作品や伝統工芸品に触れ、作家さんとのつながりができてくるなかで、つくり手の課題が見えてきました。価値ある作品の販路を開拓し、作家さんの収入を支える仕組みをつくれなにかと考え企画したのが、今回のコンテンツです」とよしもとエンタテインメント沖縄の和泉かなさん。

今年度、本事業を活用して実施したモニターツアーは、沖縄の美意識をからだで感じる”と謳った2日間の旅。紅型や染織に興味があり、着物好きの女性を魅了する内容だ。職人の手ほどきで染めを体験したり、300年の歴史をもつ紅型の最高峰とされる「城間びんがた工房」の見学や、伝統を受け継ぐ十六代目・城間栄市氏と語り、貴重な時間が設けられた。さらに、舞台やテレビの着付け師として活躍するスタイリストの着付けにより紅型をまとい、メイクを施してプロのカメラマンが特別な

一枚を撮影。食事には、琉球料理研究家が手がける養生ランチと、島食材をふんだんに使ったフレンチのデザイナーを用意。琉球古典音楽の鑑賞、現代工芸品が並ぶギャラリーでショッピングタイムも。「着付け体験では、その方のお好みやイメージに合わせてご用意した紅型の着物と帯をまわっていただきます。メイクも撮影もプロが行うので、普段の着付けより格段に美しい」「自分が別人になったみたい」と感動していらっしやいました。体験で着用した紅型と同じものをお買い上げになった方もありました」と、ツアー参加者の様子を、和泉さんは語る。年代によっては、フルコーデイナーの

旅を望む層と、自由な時間があつたほうが良いとする層に感想が分かれ、実際のツアーを実施するにあたっての課題も見えてきた。エンタメのプロ集団と、匠の技をもつ職人の総力を結集したコンテンツは、同社が長年にわたり地域で築き上げてきた信頼関係があるからこそ実現した。今年度は紅型と着物をテーマに展開したが、今後は陶芸や琉球ガラスなども取り入れ、五感で楽しめる多彩で特別な体験プランを提供する。一般のツアーでは味わえない高付加価値コンテンツを前面に打ち出し、販売拡大につなげるため、自社での企画力を軸にエージェントとの戦略的な連携も強化していく。

GOKAN\_OKINAWA  
五感で巡る 沖縄クラフトツーリズム

～染織と音色、彩の琉球時間  
～首里で出会う、纏う、聴く、つながる旅～

沖縄の伝統工芸・紅型に焦点を当てた旅のコンテンツ。工房の見学、職人との語らい、プロによる着付けとメイク、写真撮影まで体験。食事は沖縄食材の養生料理と独創的なフレンチ、古典音楽鑑賞もあり、琉球王朝が育んだ文化と食を五感で感じる特別な2日間を体験できる。

基本情報

主催者：株式会社よしもとエンタテインメント沖縄  
(沖縄県那覇市牧志3-2-10 てんぶす那覇3階)  
098-861-5141  
エリア：本島・那覇市(首里ほか)  
タイプ：現地発着型ツアー  
所要時間：1泊2日  
料金：1名20万円  
催行人数：1名～最大4名  
想定対象：30代～60代の和装に興味があり、文化志向が強い女性  
URL：https://www.instagram.com/gokan\_okinawa

#ニューロダイバーシティ  
#リゾートベビースッター



沖縄の美しい砂浜で、五感をやさしく刺激するシーサイドセンサープログラム(左)や保護者様向け海のリゾート(右上)をはじめ各種プログラムを用意。※写真はいずれもイメージ。代表取締役の山田達也さんと担当の真境名翔子さん(右下)。

発達特性がある子どもと家族の旅をサポート

沖縄の自然がもつ癒しの力で  
感覚過敏のある子どもと、その家族に寄り添う

発達特性をもつ子どもがいることで、時には旅行をあきらめる場合があるという。そんなファミリーに、沖縄の自然と文化に親しむプログラムを提供する新しい旅の形、ニューロダイバーシティ・ツーリズムの可能性とは？

旅行に不安を抱えた家族をサポートすることで癒しの旅を提案

ニューロダイバーシティ(神経多様性)とは、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)といった発達の特性を、「個性」としてとらえる概念。発達特性をもつ子どもの場合、予測不能な行動が起こる場合があることから、家族旅行に不安を抱え、あきらめることもあるという。その家族に特化した観光コンテンツを開発中なのが、ティーアールピージャパン株式会社(TRP)だ。同社は、観光客向けのベビースッター派遣サービスを事業の柱とする一方で、県内の児童福祉施設を対象にした放課後デイサービス・児童発達支援を行う事業においても、10年の実績がある。「両事業で培ったノウハウと人材を生かし、新たなコンテンツで挑戦ができると考えました。ニューロダイバーシティの概念が社会に受け入れられつつあるなかで、現実ではそのご家族の大部分が『子どもに合った旅行先がない』と訴えています。沖縄の温暖な気候や自然環境は、センシティブな感覚のあるお子様を受け入れる包容力があり、ご家族にも安心して参加

していただけると思えました」と、代表取締役の山田達也さん。今年度は本事業を活用し、5家族のモニターツアーを実施した。その内容は、旅行出発前にオンラインによる個別相談を行い、子どもの特性と家族のニーズに合わせた旅程を設計。担当するシッターとの顔合わせまで行う。沖縄到着後は、シッターと本部スタッフがチームとなり、柔軟な対応でプログラムを進行。子どもがプログラムを体験している間、同行した家族はヨガやSUPを楽しむ。帰宅後は、次回の旅行に向けての相談や継続支援も行う。

「親御さんからは『安心して子どもを預けることができ、自分たちも楽しめました』と言っていただ

きました。お子さんに関しては、成功体験を積み重ねることで、感覚統合能力の向上が期待できると感じています」と山田さん。ツアー商品としての手ごたえがあるものの、価格面で高さを感じたという参加家族も。個別プログラムであること、資格とスキルがあるスタッフが対応するといった部分を含め、詳細を明確に価格表示することでハードルを下げ、高付加価値に納得できる層にアピールしていくことが重要だ。

一人ひとりの特性に丁寧に向き合いながら設計することが求められるが、新たなターゲット層との出会いにつながり、リピーター獲得の可能性も高い。今後の展開が期待される。

ニューロダイバーシティ  
当事者とその家族向け  
癒しの観光コンテンツ開発事業

～ニューロダイバーシティ・ツーリズム～

発達特性がある子どもと、その家族向けの体験をパッケージにしたプログラム。専門知識と経験を持つベビースッターを派遣し、対象の子どもがプログラムを体験している間、家族はその様子を見守りながら過ごしたり、ビーチヨガ、SUPなど別プログラムを楽しむこともできる。

基本情報

主催者：ティーアールピージャパン株式会社  
(沖縄県糸満市潮崎4-22-11) 098-840-3112  
エリア：本島全域  
タイプ：現地発着型募集ツアー  
所要時間：約90分  
料金：シーサイドセンサープログラム、琉球アート体験  
各30,000円、海のリゾート(ヨガ:15,000円、SUP:20,000円)  
催行人数：発達特性をもつ児童1名～最大2名  
想定対象：発達特性をもつ子どもを含むファミリー  
URL：https://worldkids-okinawa.com

# 沖縄観光コンテンツ開発支援事業

【本事業 造成コンテンツ事例MAP】



本事業ポータルサイトでは各観光コンテンツの詳細ほか、随時、最新情報をお届けしています！ぜひご覧ください。

<https://OKICON.JP>

- 観光コンテンツ検索機能
- 商談会・セミナー情報
- FAM ツアー・モニターツアーのご案内 他

メルマガ会員も募集中です

★マークのコンテンツは本事業ポータルサイトにて詳細をご覧いただけます。

テーマ	カテゴリ	エリア	事業者名	コンテンツタイトル	概要	P
沖縄ローカル	①	トランスフォーマティブ ウーマンオンリー	首里周辺・やんばる 株式会社ツアーデザイナーズ	Woman's Sense of Wonder 一森と星とともに訪ぐ、「私」に還る物語	首里の街歩きにはじまり本島北部のやんばるを舞台に、沖縄ならではの文化と暮らしに触れるオーダーメイドによる少人数の滞在型プログラム。	4
	②	文化体験 修学旅行	名護市 株式会社 ホット沖縄総合研究所	沖縄郷時間 ～人々の暮らしが織りなす本物の沖縄に出会う時～	名護市東海岸沿いに広がり海と山に囲まれた久志地域。13の集落に息づく暮らしの魅力をローカルパートナー（地域住民）の案内で体験。	8
	③	街歩き エンタメ	沖縄市 株式会社 ファンファーレ・ジャパン	沖縄市コザ ノスタルジックツアー	沖縄の最深部に飛び込む街歩きツアー。人気の芸人がガイドする夜のロングツアーのほか、ショートツアー、修学旅行向けの昼間のツアーも。	11
	④	修学旅行 体験ゲーム	沖縄市 一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	琉球謎解紀行 in 沖縄市 ～知恵とチームワークで謎を解け。多文化共存の街で学ぶ、リアルな探求プログラム～	琉球文化と戦後のアメリカンカルチャーが融合する沖縄市コザ地域を、ゲーム感覚で巡りながら街歩きを楽しむ。参加者はキットを手に、各スポットに仕掛けられた謎に挑戦。	10
	⑤	一人旅 文化体験	久米島 FM久米島株式会社	Re-Birthday チャレンジ誕生日！ 久米島ソロバースデー旅 ～眠っているあなたの夢の種、咲かせてみませんか？～	島で誕生日を迎えるゲストの旅を2泊3日でフルコーディネート。長年の夢の実現、やりたかったことへのチャレンジをサポートし、盛大に祝う。	13
	⑥	街歩き 体験ゲーム	本部町 株式会社沖縄美ら島フードサービス 一般社団法人本部町観光協会	もとぶヒューマンツーリズム (ロゲイニング)	自然、文化など町内のエリア内に設定されたチェックポイントを巡り、点数を競うロゲイニング。大人数での実施が可能。	★
自然体験・SDGs	⑦	SDGs 文化体験	伊平屋島 あいあいゆいまる株式会社	IHEYA SMILE 伊平屋島の 離島生活を満喫プログラム	木造船サバニでの伝統漁業体験、クバの笠作り、民泊体験など、離島ならではの資源を活用した、ウェルネスで持続可能なプログラム。	6
	⑧	SDGs 文化体験	県内 全域 沖縄ツーリスト株式会社 一般社団法人しまぬわ	ビーチクリーンで想いをつなぐ 沖縄の離島 全島チャレンジ	沖縄離島に出かけ、海の清掃活動を行う。訪問先では地域の人たちと交流し、ゴミ処理施設を見学したり、ゴミ処理の課題についても学ぶ。	12
	⑨	SDGs 家族	恩納村 ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄	瀬良垣島・クマノミ育成プロジェクト	シュノーケルと座学で瀬良垣島の海とクマノミの生態を学ぶ。沖縄科学技術大学院大学(OIST) 監修。経験豊富なインストラクターと安全に楽しく体験。	★
	⑩	エンタメ 修学旅行	沖縄市 株式会社東南植物楽園	東南植物楽園 団体特別 バードパフォーマンスショー	色鮮やかなインコやオウムが繰り広げる人気イベント「バードパフォーマンスショー」を団体向けに特別アレンジ。	★
	⑪	エコツアー ナイトタイム	南城市 株式会社南都	おきなわワールド ウワガージャングル	閉園後の静まり返ったおきなわワールドの未開拓エリアに広がる本物のジャングル。普段は入ることができない自然のままのジャングルをガイドと一緒に冒険する。	★
	⑫	SDGs エコツアー	宮古島 エコツアーラボ合同会社	沖縄教育旅行・ 社会貢献活動プログラム	宮古島 オーダーメイド型探究学習プログラム (AI・VR 活用可)	★
	⑬	文化体験 クルージング	県内 全域 株式会社 RMC CONSULTING	Okinawa Art Cruising	碧く深くコバルトブルーの海を走る、ラグジュアリーな白いヨットを舞台に、沖縄の芸術体験を自由にセレクトして楽しむクルージングへ。	★
文化・芸能	⑭	伝統芸能	県内 全域 県外 一般社団法人 琉球伝統芸能デザイン研究室	琉球の美 ～特別なおもてなし～	伝統芸能のエッセンスを凝縮し、琉球王朝時代の高貴なおもてなし「うとういむち」を少人数・小空間で体験。	★
	⑮	文化体験 ウェルネス	南城市 一般社団法人 南城市観光協会	世界文化遺産 斎場御嶽早朝参拝	開門前の静寂に包まれた琉球王国最高の聖地とされる斎場御嶽を早朝、参拝案内人の付き添いで特別に参拝。参拝後は近隣カフェにて地元食材の特別朝食メニューをいただく。	★
	⑯	文化体験 クラフト	那覇市 株式会社 よしもとエンタテインメント沖縄	GOKAN OKINAWA 五感で巡る 沖縄クラフトツーリズム	沖縄の伝統工芸・紅型に焦点を当てた旅のコンテンツ。工房の見学、職人との語り、プロによる着付けとメイク、写真撮影まで体験。	14
	⑰	伝統芸能 ナイトタイム	本島 全域 株式会社 セルリアンブルー	沖縄タマテ箱♪ トワイライトナイトエコノミー ～若手芸能家×星空案内の饗宴～	伝統芸能と星空の饗宴を楽しむ体験型バスツアー。世界遺産、琉球歌碑などを訪問し、若手芸能家の琉球演舞を鑑賞。夕食後は、特別なエリアでの沖縄の星空鑑賞。	—
	⑱	文化体験 伝統芸能	那覇市 株式会社 かりゆしエンターテイメント	【識名園】琉球士族の世界	現代に蘇った琉球王朝時代の士族のおもてなしを体験。世界遺産「識名園」での本格的な琉球体験、最高クラスの芸能鑑賞、復刻宮廷料理のコースなど特別な時間を過ごすことができる。	★
	⑲	文化体験 家族	本島 全域 ティーアールピージャパン 株式会社	リゾートベビースitterサービス× 沖縄文化体験／タンカーユエー体験	ベビースitterのサービスに沖縄の文化体験を組み合わせたプログラム。	★
	⑳	文化体験 インパウンド	本島 全域 Ageshio Japan 株式会社	沖縄空手聖地巡礼ツアー	沖縄空手の源流をたどる体験型ツアー。国内外の空手愛好家や文化関心層を対象に開発。四大流派や古武道ゆかりの記念碑・墓所などを巡る。現地師範による指導も可能。	★
	㉑	ニューロダイバーシティ 家族	本島 全域 ティーアールピージャパン 株式会社	ニューロダイバーシティ 当事者とその家族向け 癒しの観光コンテンツ開発事業	発達特性がある子どもと、その家族向けの体験をパッケージにしたプログラム。専門知識と経験をもつベビースitterを派遣し、希望に応じたプログラムを体験できる。	15

※本誌掲載のツアー内容や料金は2026年3月現在のものです。変更となる場合がありますので、最新の情報は各事業者にお問い合わせください。

**⑤ 一人旅 文化体験** Re-Birthday チャレンジ誕生日！  
久米島ソロバースデー旅  
～眠っているあなたの夢の種、咲かせてみませんか？～

**⑫ SDGs エコツアー** 沖縄教育旅行・  
社会貢献活動プログラム

**⑦ SDGs 文化体験** IHEYA SMILE 伊平屋島の  
離島生活を満喫プログラム

**⑧ SDGs 文化体験** ビーチクリーンで想いをつなぐ  
沖縄の離島 全島チャレンジ

**⑨ SDGs 家族** 瀬良垣島・クマノミ育成  
プロジェクト

**⑩ エンタメ 修学旅行** 東南植物楽園 団体特別  
バードパフォーマンスショー

**⑪ エコツアー ナイトタイム** おきなわワールド  
ウワガージャングル

**⑫ SDGs エコツアー** 沖縄教育旅行・  
社会貢献活動プログラム

**⑬ 文化体験 クルージング** Okinawa Art Cruising

**⑭ 伝統芸能** 琉球の美  
～特別なおもてなし～

**⑮ 文化体験 ウェルネス** 世界文化遺産  
斎場御嶽早朝参拝

**⑯ 文化体験 クラフト** GOKAN OKINAWA  
五感で巡る 沖縄クラフトツーリズム

**⑰ 伝統芸能 ナイトタイム** 沖縄タマテ箱♪  
トワイライトナイトエコノミー  
～若手芸能家×星空案内の饗宴～

**⑱ 文化体験 伝統芸能** 【識名園】琉球士族の世界

**⑲ 文化体験 家族** リゾートベビースitterサービス×  
沖縄文化体験／タンカーユエー体験

**⑳ 文化体験 インパウンド** 沖縄空手聖地巡礼ツアー

**㉑ ニューロダイバーシティ 家族** ニューロダイバーシティ  
当事者とその家族向け  
癒しの観光コンテンツ開発事業

**① トランスフォーマティブ ウーマンオンリー** Woman's Sense of Wonder  
一森と星とともに訪ぐ、「私」に還る物語

**② 文化体験 修学旅行** 沖縄郷時間  
～人々の暮らしが織りなす  
本物の沖縄に出会う時～

**③ 街歩き エンタメ** 沖縄市コザ  
ノスタルジックツアー

**④ 街歩き 体験ゲーム** 琉球謎解紀行 in 沖縄市  
～知恵とチームワークで謎を解け。多文化共  
存の街で学ぶ、リアルな探求プログラム～

**⑥ 街歩き 体験ゲーム** もとぶヒューマンツーリズム  
(ロゲイニング)

**⑧ SDGs 文化体験** ビーチクリーンで想いをつなぐ  
沖縄の離島 全島チャレンジ

**⑬ 文化体験 クルージング** Okinawa Art Cruising

**⑭ 伝統芸能** 琉球の美  
～特別なおもてなし～

**⑰ 伝統芸能 ナイトタイム** 沖縄タマテ箱♪  
トワイライトナイトエコノミー  
～若手芸能家×星空案内の饗宴～

**⑲ 文化体験 家族** リゾートベビースitterサービス×  
沖縄文化体験／タンカーユエー体験

**⑳ 文化体験 インパウンド** 沖縄空手聖地巡礼ツアー

**㉑ ニューロダイバーシティ 家族** ニューロダイバーシティ  
当事者とその家族向け  
癒しの観光コンテンツ開発事業

**① トランスフォーマティブ ウーマンオンリー** Woman's Sense of Wonder  
一森と星とともに訪ぐ、「私」に還る物語

**② 文化体験 修学旅行** 沖縄郷時間  
～人々の暮らしが織りなす  
本物の沖縄に出会う時～

**③ 街歩き エンタメ** 沖縄市コザ  
ノスタルジックツアー

**④ 街歩き 体験ゲーム** 琉球謎解紀行 in 沖縄市  
～知恵とチームワークで謎を解け。多文化共  
存の街で学ぶ、リアルな探求プログラム～

**⑩ エンタメ 修学旅行** 東南植物楽園 団体特別  
バードパフォーマンスショー

**⑬ 文化体験 クルージング** Okinawa Art Cruising

**⑭ 伝統芸能** 琉球の美  
～特別なおもてなし～

**⑰ 伝統芸能 ナイトタイム** 沖縄タマテ箱♪  
トワイライトナイトエコノミー  
～若手芸能家×星空案内の饗宴～

**⑲ 文化体験 家族** リゾートベビースitterサービス×  
沖縄文化体験／タンカーユエー体験

**⑳ 文化体験 インパウンド** 沖縄空手聖地巡礼ツアー

**㉑ ニューロダイバーシティ 家族** ニューロダイバーシティ  
当事者とその家族向け  
癒しの観光コンテンツ開発事業

**⑪ エコツアー ナイトタイム** おきなわワールド  
ウワガージャングル

**⑮ 文化体験 ウェルネス** 世界文化遺産  
斎場御嶽早朝参拝

## 1 コンテンツを価値ある商品にしていくために

～「沖縄の宝」を観光のチカラで、より持続的で対価を生む「商品」へと転換するには？～

公益財団法人日本交通公社 観光研究部 主任研究員 本事業アドバイザー  
後藤伸一氏

旅行者が求めているのは、作られた見世物ではなく、体験や活動を通じて人間らしいつながりを感じる状態です。例えば伝統工芸品の場合、単なるモノとして販売するのではなく、歴史やストーリー、職人の技に触れることで価値が高まり、ファンが増えれば持続性が生まれます。ツアーであれば、地域の人の案内でリアルな生活を体験することが付加価値になり、地域の課題や不便さをも魅力に変えることが可能です。

この考え方を方程式にすると右図のようになります。高支出の旅行者ほどサステナブルを重視するというデータがあります。地域がよくなり、旅行者もよくなっていくことが、高付加価値な旅行商品を生み出すポイントといえます。

沖縄のありのままの宝（実存的真正性）

×

案内人との深い対話（価値の共創）

×

地域とお客様自身の未来（自己変革）

||

選ばれ続け、持続的な対価を生み出す旅行商品

## 2 顧客が「お金を払いたくなる」価値の創造

～「せっかくだから」と「妥協したくない」、二つの心理で読み解く高付加価値化～

旅ナカラボ合同会社 代表 本事業アドバイザー  
野添幸太氏

旅行者には大きく分けて、AB（右図）二つのタイプがあります。

Aタイプには手頃な価格と、SNS映えるようなダイレクトなプロモーションが、Bタイプにはより専門的なストーリー性を付加し、サステナビリティや社会的意義を盛り込むなど、それぞれのタイプに合わせた体験を設定することが、価値の創造につながります。

### Aタイプ

直感的・衝動的・短期的な「せっかくだから（利得最大化）型」。「もっと楽しもう」という意識が強く、「希少性+感動+達成感」という足し算で高付加価値を求める。今だけ、こっだけ、あなただけといった、驚きや喜びを提供することが効果的。友だちや家族への拡散が期待できる。

### Bタイプ

「必ずやり遂げたい」思いが強く、計画的・慎重・長期的な「妥協したくない（損失最小化）型」。「知的な刺激×能動的な参加×人の触媒効果（人との出会いによる相乗効果）」の掛け算で高付加価値を求める。熱心なりピーターになる可能性が高く、再来訪を誘うストーリーが必要。

## 3 「価値」に基づいた価格設定ロジック

～価格を単なる「値付け」ではなく、マーケティング戦略の一環としてとらえる～

株式会社ビズユナイテッド 代表取締役 本事業アドバイザー  
宮口直人氏

価格とは、価値の約束です。お客様は「安さ」ではなく、「納得できる価値」を求めています。高い価格を設定することは、それに見合う価値・品質・満足度を約束することになります。

その価格の決め方には、右の三つがあります。多くの場合、①②に依存しがちですが、観光コンテンツの場合、

お客様が受け取る価値に応じて決定する③の需要基準型が推奨されます。

- ① コスト基準型
- ② 競合地域基準型
- ③ 需要基準型

これはレベニューマネジメントの考え方につながるもので、過去の予約履歴といった需要データ、類似商品との

競合価格、自社のブランドポジション、外部需要など、さまざまな要素から論理的に決定し、柔軟に調整していく手法です。

また、忘れてはならないのが損益分岐点と限界利益の把握です。売上だけでなく、限界利益の高い商品を優先することが、経営の安定につながります。



# 観光コンテンツの「高付加価値化」に向けて

本記事は、2025年9月17日に実施した本事業第1回セミナー「地域の魅力をカタチにする！—観光における実践的アプローチ—」および、2026年2月27日に実施した第2回セミナー「『売れる』コンテンツ設計と販売戦略～高付加価値化を目指す実践手法～」の内容を一部抜粋し、作成しています。セミナーの概要・詳細は、本事業ポータルサイト(okicon.jp)をご覧ください。

## 高付加価値で実現する持続可能な観光

～量から質への転換へ、「沖縄の宝」を磨き、ほかにはない体験でブランド力を高めていく～

公益財団法人日本交通公社 観光研究部 主任研究員  
本事業アドバイザー

後藤伸一氏

### 高付加価値の本質は独自のブランド力にある

観光に取り組む動機は、大きく二つに分けられます。一つは、目の前の課題に対応し、マイナスをゼロに戻す「課題解決型」。もう一つは、理想の未来を実現するため、ゼロからプラスの価値を創造する「ビジョン追求型」です。課題解決はもちろん必要ですが、本コンテンツ開発においては、ビジョン追求が特に重要だと考えています。

沖縄の観光で今、求められているのは、この地の宝である自然や文化を、持続的により価値の高いものに変えていくことです。地域観光づくりにおいては、観光客への価値提供だけでなく、地域経済への貢献、そして自然・環境・文化やコミュニティ（地域の暮らし）を守りながら、商品づくりと地域づくりを進めていくことが欠かせません。このバランスが崩れると、将来的にオーバーツーリズムといった弊害も出てきます。

本テーマである「高付加価値化」には、「強制型」と「自主尊重型」の二つの手法があります。前者は人数制限などの規制により価値を高める方法、後者はミシュランのように星が付くことで社会的な価値を高める方法です。忘れてな

らないのは、価格が高いことと高付加価値は必ずしもイコールではないという点です。

高級なホテルや食事、贅沢な乗り物や、催しのプレミアムシートといった贅沢な体験は、ずっと昔から存在します。高付加価値の本質は、価値の源泉が借り物ではなく、自らが生み出す沖縄らしさという独自性によって形成されるブランド力です。そこには高価格なものもあれば、低価格でも高付加価値なものもあるはずで、ビジョン追求型のアプローチにより、沖縄らしく、地域らしくありたい姿から逆算して、ほかにはない体験価値をつくり上げることこそが、「沖縄の宝」を真に価値の高いものに変えていくための道筋になると思います。

### “沖縄の宝を守る”姿勢が事業の根幹に必要

例えば、ニュージーランドのホエールウォッチング事業は、高付加価値の好例です。この事業は先住民マオリの人々の根底にある、「クジラは神様からのギフトである」という思想のもと、クジラを「獲る」から「守る」ことへ意識転換したことから始まりました。環境負荷とクジラへの影響を軽減するため、

減船をして出航回数を減らしたり、エンジンを小型化したりするなどして、「宝を守る」という事業の根幹がブランド力となっています。地域貢献をコストではなく責任ととらえる姿勢も信頼性を高め、高価格にもかかわらず多くの観光客が訪れています。

コンテンツ開発に携わる一人ひとりが、自らの取り組みに誇りをもち、沖縄の心、地域の心を大切に伝えていく。その日常の積み重ねから生まれる体験こそが、高付加価値な商品につながります。20年後、30年後、もっと先の未来に「沖縄はこうありたい！」という姿を考え、観光商品に反映していくことができれば、素晴らしいものができ上がるはずで、

補足になりますが、旅行業務取扱管理者の資格取得は、大変よい学習の機会になります。誤解しないでいただきたいのは、旅行業の資格がないから高付加価値なコンテンツをつくれなわけでは決してありません。しかし、理念があり、沖縄らしい高付加価値なものをつくらうとしても、旅行業法の壁に阻まれる場合が少なからずあります。ルールを知り、安全対策もしたうえで、いいコンテンツへと仕上げていただくのが理想的な形です。